

Kure College		Year	2020		Course Title	Manufacturing Practice	
Course Information							
Course Code	0030			Course Category	Specialized / 選択必修		
Class Format	Practical training			Credits	School Credit: 1		
Department	Electrical Engineering and Information Science			Student Grade	1st		
Term	Second Semester			Classes per Week	2		
Textbook and/or Teaching Materials	プリント						
Instructor	Tanaka Makoto,Hirano Akira						
Course Objectives							
1.基本的な電子工作を行うことができる。 2.回路図を正しく理解することができる。 3.電子工作に必要なソフトウェアを扱うことができる。							
Rubric							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	基本的な電子工作を適切に行うことができる		基本的な電子工作を行うことができる		基本的な電子工作を行うことができない		
評価項目2	回路図を正しく理解することが適切にできる		回路図を正しく理解することができる		回路図を正しく理解することができない		
評価項目3	電子工作に必要なソフトウェアを扱うことが適切にできる		電子工作に必要なソフトウェアを扱うことができる		電子工作に必要なソフトウェアを扱うことができない		
Assigned Department Objectives							
学習・教育到達度目標 本科の学習・教育目標 (HC)							
Teaching Method							
Outline	ものづくりに関する基礎的な実習を体験することで、電気情報工学の技術に対する興味・関心を高め、今後の学習に意欲的となることを目的とする。本実験実習は就職および進学、人間力形成に関連する。						
Style	配布テキストにしたがって実験実習を行う。						
Notice	回路図、電子部品、製作法をしっかりと身につけるように。						
Course Plan							
			Theme		Goals		
2nd Semester r	3rd Quarter	1st	ガイダンス		実験に関する諸注意		
		2nd	1. 電源をつくる		電源回路が作成できる		
		3rd	2. 増幅回路をつくる		増幅回路が作成できる		
		4th	3. モータ制御回路をつくる		タイマICを用いてモータを制御できる		
		5th	4. デジタル回路をつくる		基本論理素子を知ることができる		
		6th	5. オーディオパワーアンプをつくる		ハンダ付けで回路を作成できる		
		7th	試験前演習		演習		
		8th	特別演習		演習		
	4th Quarter	9th	6. エフェクターをつくる		ブレッドボードで回路を試作できる		
		10th	7. micro:bitを使う		Pythonブロックエディタでプログラミングができる		
		11th	8. マイコンをつかう		Arduinoで簡単なプログラミングができる		
		12th	9. Fritzingをつかう		回路図エディタを使うことができる		
		13th	10. プレゼン		プレゼン		
		14th	試験前演習		演習		
		15th	特別演習		演習		
		16th					
Evaluation Method and Weight (%)							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	Total
Subtotal	0	0	0	40	60	0	100
基礎的能力	0	0	0	40	40	0	80
専門的能力	0	0	0	0	20	0	20
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0